

[果樹部門 令和7年度 参考となる研究成果]

事項名	りんご「ふじ」に対するMCPB乳剤（サニデイ）の摘花効果と使い方																
ねらい	既存の摘花剤は2回散布する必要がある、特に石灰硫黄合剤は散布機の汚れや腐食など使いづらい面がある。今回、散布回数の省力化が可能で、取り扱いも容易な新規摘花剤サニデイの効果を検討したところ、1回散布で実用性の高い摘花効果が確認されたので参考に供する。																
内容	<p>1 サニデイの特徴  石灰硫黄合剤及びエコーキーは、物理的にめしべの柱頭を損傷させ受精を阻害するため、頂芽花及びえき芽花の満開日に2回散布する必要がある。  一方、サニデイは植物ホルモンであるオーキシンの作用により受精を阻害させるため、1回散布で頂芽花及びえき芽花の両方に対し摘花効果が得られ、散布労力の軽減となる。また、価格は石灰硫黄合剤より高いが、エコーキーより安い。</p> <table border="1" data-bbox="341 703 1457 869"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>使用目的</th> <th>使用時期</th> <th>希釈倍数</th> <th>使用回数</th> <th>成分総使用回数</th> <th>10a当たり散布量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふじ</td> <td>摘花</td> <td>頂芽中心花満開 1～2日後</td> <td>2,000倍</td> <td>1回</td> <td>2回以内</td> <td>350L</td> <td>展着剤不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 使用上の注意点  (1) 中心花の受粉が不十分であった場合、結実不良若しくは未結実となるため、人工受粉を確実に行ってから、本剤を散布する。  (2) 散布後に葉が萎れる症状（エピナスティ）を示すが、1週間程度で回復する。  (3) 本剤の効果が確認されている品種は「ふじ」のみである。</p> <p>3 農薬登録内容  (1) 一般名：MCPB乳剤  (2) 商品名：サニデイ  (3) 有効成分：2-メチルー4-クロロフェノキシ酪酸エチル 3.0%  (4) 人畜毒性：普通物  (5) 適用内容  ア 作物名：りんご  イ 使用目的：摘花  ウ 希釈倍数：2,000倍  エ 使用液量：300～600L/10a  オ 使用時期：頂芽中心花満開1～2日後  カ 使用方法：立木全面散布又は枝別散布  キ 使用回数：1回  ク 成分総使用回数：2回以内</p>	品種	使用目的	使用時期	希釈倍数	使用回数	成分総使用回数	10a当たり散布量	備考	ふじ	摘花	頂芽中心花満開 1～2日後	2,000倍	1回	2回以内	350L	展着剤不要
品種	使用目的	使用時期	希釈倍数	使用回数	成分総使用回数	10a当たり散布量	備考										
ふじ	摘花	頂芽中心花満開 1～2日後	2,000倍	1回	2回以内	350L	展着剤不要										
期待される効果	摘花剤の選択幅が広がるとともに、取り扱いやすく安全なことから、薬剤摘花の普及及び摘花・摘果作業の省力化が期待できる。																
利用上の注意事項	<p>1 本資料は令和7年1月19日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。  2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任の下に使用すること。  「農薬情報」(<a href="https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/">https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/</a>)  「農薬登録情報提供システム」(<a href="https://pesticide.maff.go.jp/">https://pesticide.maff.go.jp/</a>)</p>																

問い合わせ先 (電話番号)	りんご研究所 栽培部 (0172-52-2331)	対象地域 及び経営体	県内全域のりん ご経営体
発表文献等	平成 26、27、30 年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績集録 (日本植物生育調節剤研究協会) 平成 26、27、30、令和 6 年度 りんご研究所試験成績概要集 (りんご) 令和 4、6 年度 農薬展示圃成績書 (青森県植物防疫協会)		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 サニデイの「ふじ」に対する摘花効果 (平成 27、30 年 青森りんご研)

年次	区	希釈倍数	処理時期		結実率 (%)		
			1 回目	2 回目	頂芽花		えき芽花
					中心花	側花	
平成 27 年	サニデイ	2,000 倍	5 月 4 日	—	95.0 ab	55.6 b	45.4 a
	石灰硫黄合剤	100 倍	5 月 4 日	5 月 7 日	78.3 a	32.9 a	42.6 a
	無散布	—	—	—	98.3 b	91.3 c	80.7 b
平成 30 年	サニデイ	2,000 倍	5 月 7 日	—	83.3 ab	44.0 b	61.7 a
	石灰硫黄合剤	100 倍	5 月 7 日	5 月 10 日	76.7 a	15.9 a	56.4 a
	無散布	—	—	—	100.0 b	87.0 c	83.7 b

(注) アルファベット: Tukey-Kramer の多重比較法により異符号間に 5%水準で有意差あり。

表 2 現地圃場におけるサニデイの「ふじ」に対する摘花効果 (令和 4、6 年 中南地域県民局地域農林水産部、青森りんご研)

年次	園地	区	希釈倍数	処理時期		結実率 (%)		
				1 回目	2 回目	頂芽花		えき芽花
						中心花	側花	
令和 4 年	A園	サニデイ	2,000 倍	5 月 7 日	—	41.7	12.0	—
		無散布	—	—	—	71.7	55.9	—
		有意性	—	—	—	*	**	—
令和 6 年	B園	サニデイ	2,000 倍	5 月 4 日	—	20.0 a	3.9 a	1.6 a
		エコルーキー	100 倍	5 月 4 日	5 月 6 日	43.3 b	25.4 b	1.9 a
		無散布	—	—	—	55.0 b	29.5 b	6.0 a
	C園	サニデイ	2,000 倍	5 月 4 日	—	40.0 a	9.3 a	10.4 a
		エコルーキー	100 倍	5 月 4 日	5 月 6 日	88.0 b	30.4 b	14.5 a
		無散布	—	—	—	90.0 b	37.6 b	17.7 a

(注) 有意性: Fisher の正確確率検定により、\*\*は 1%水準、\*は 5%水準で有意差あり。  
アルファベット: 表 1 の脚注に準じる。

(参考価格) 10 a 当たり 350 L 散布で  
サニデイ 2,000 倍: 2,672 円 (税込)  
石灰硫黄合剤 100 倍: 999 円 (税込)、2 回散布で 1,998 円 (税込)  
エコルーキー 100 倍: 5,167 円 (税込)、2 回散布で 10,334 円 (税込)